

## 直近の世論調査から見る政局 - その3

2008年6月20日 総研

### 今回のポイント

福田内閣の支持率...「やや持ち直し」。それでも依然として、安倍政権末期より低い。何かおかしい！マスコミ世論調査の設問...「後期高齢者医療制度の見直し」。世論の政権交代への志向性...いま総選挙があれば「自民惨敗」「政権交代」必至。道内...ダブルスコアの政党支持率(自民16%：民主32%)。衆院選での投票も民主に44%、自民は17%。

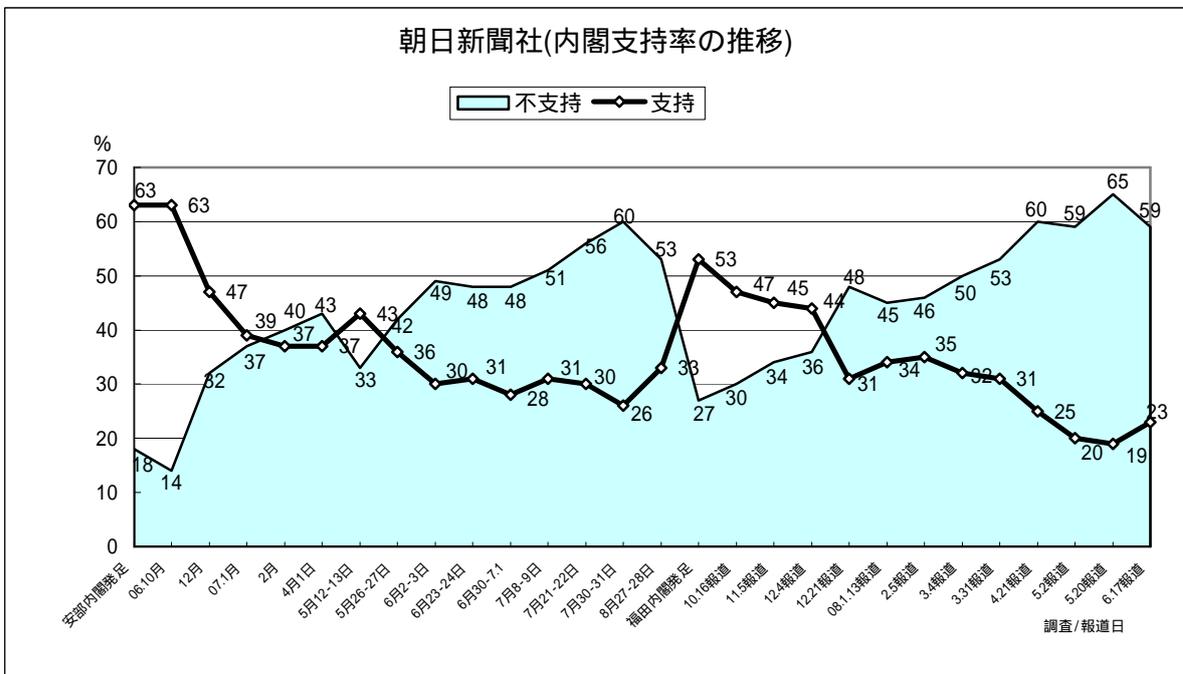
### 1. 福田内閣の支持率...「やや持ち直し」20%台前半に。不支持6割台。読売だけは？

マスコミ主要各紙の6月の世論調査がほぼ出そろった。日経だけまだ報道されていないが、日経はこの1年以上、毎月の世論調査を欠いたことはないので、来週にも報道されることとなるだろう。

今月の世論調査の特徴は、国会が実質閉幕となることを受けて、民主党の提出した「首相問責決議」と「後期高齢者医療制度の見直し」に対する国民の反応を見るものが多かった。

まず福田内閣の支持率は、主要各紙では、3%～5%程度アップして20%台前半に。与党・政府はほっとしているようだが、それでも安倍政権の末期より低いことには変わりはない。不支持もいぜん6割台になっている。ここで取り上げているマスコミ調査で、内閣支持率が下がっているのは読売だけ(1%)で、選挙マニアの間では「数値の調整に入った」という辛辣な見方も出ている。

読売・6月17日報道(支持25.1%：不支持63.4%)、毎日・6月16日報道(支持21%：不支持60%)、共同・6月14日報道(支持25.0%：不支持60.2%)、朝日・6月17日報道(支持23%：不支持59%)、NHK・6月9日報道(支持26%：不支持61%)。



内閣の支持率が「やや持ち直し」となった理由には、6月11日に民主党が参院に提出した「首相問責決議」、これに対抗しての、翌日の衆院での「信任決議」をめぐるマスコミ報道の影響や、後期高齢者医療制度での「負担軽減」策などもあると思われる。

まず民主党の問責決議に対しては、

- ・(朝日)参院で可決されたことを...評価する 42%、評価しない 39%
- ・(毎日)問責が可決されたのに、福田首相が衆院解散も総辞職もしないことを...  
評価する 29%、評価しない 61%
- ・(共同)問責可決で...解散・総選挙を 56.2%、辞めるべきだ 30.0%、総辞職を 8.4%。
- ・(読売)法的効力のない問責決議は...意味があった 36.2%、意味がなかった 50.2%
- ・(NHK)問責可決されたら...解散すべき 49%、辞任すべき 12%

と、各社の聞き方もバラバラだが、回答から民意を汲み取るのも少し微妙だ(どう見るのか)。

参院での問責決議が可決した翌日のマスコミ社説は、「首相問責 - 民意を問う日に備えよ」(朝日)、「問責決議可決 民主は自ら手を縛るな」(毎日)、「首相問責決議 何のために可決したのか」(読売)、「初の首相問責決議をどう受け止めるか」(日経)、「首相問責決議 参院が示した重い判断」(道新)など。党首討論が中止になったことに対する批判的記事もあり、どちらかという、朝日と道新以外は、民主党に批判的であるか、注文を付ける(審議復帰を)トーンの強いものだった。与党が団結して衆院で「福田首相を信任した」ことも、与党支持層の中の政権批判派を一部回復させたのかもしれない。

それでも、福田内閣の支持率は与党(自民党 + 公明党)の合わせた政党支持率よりもまだ低いのである。

## 2. 何かおかしい！ マスコミ世論調査の仕方

もうひとつ、後期高齢者医療制度に対する批判を受けて、政府が「負担軽減策」を打ち出してきたことも、その内容は別にしても、やや批判的世論を沈静化させる役割も果たしたと考えられる。色づけしたセルは政府・自民党に批判的傾向のあった回答である。

後期高齢者医療制度について 5月調査「賛否」

	評価する	評価しない	内閣支持	〃 不支持	自民支持	民主支持
朝日5.20	15	74	19	65	22	26
毎日5.3	17	77	18	61	20	28
読売5.20	29.6	68.6	26.1	64.7	28.5	18.4
(読売6.17)	35.6	60.8				
日経5.6	17	74	21	68	33	36
	運用改善	廃止すべき	内閣支持	〃 不支持	自民支持	民主支持
共同5.3	44.0	46.5	19.8	66.6	24.3	30.3

後期高齢者医療制度についての調査は、5月は制度そのものの賛否を問うものだったが、圧倒的に批判が強い。内閣支持率は続落し、政党支持率も民主党が自民党を上回るといった現象が再現された。

後期高齢者医療制度について 6月調査「見直し」

	評価する	評価しない	内閣支持	〃 不支持	自民支持	民主支持
朝日6.17			23	59	22	22
毎日6.16	44	48	21	60	21	25
読売6.17	59.0	38.1	25.1	63.4	26.0	20.5
	運用改善	廃止すべき				
共同6.14	44.9	47.0	25.0	60.2	29.1	23.6
	負担軽減	制度廃止	内閣支持	〃 不支持	自民支持	民主支持
日経5.26	35	25	24	64	31	36
	天引中止	周知徹底				
	20	11				

6月の調査は、政府の制度「見直し」(負担軽減策)のに対する賛否を問うものに比重が移る。制度見直しについて、朝日は設問なし。毎日は「評価しない」がやや多いが回答は二分されている。読売は6:4の比率で「評価する」が多い。共同と日経は「見直し」そのものの賛否を問わず、選択肢を作って曖昧にしている。

しかも「誘導質問ではないか」という指摘もある。例えば、読売の設問は

Q「政府・与党は、この制度の基本的部分を変えずに、所得が少ない人の保険料を軽くするなどの見

直しを行う方針です。こうした政府・与党の方針を、評価しますか。」

・評価する 59.0% ・評価しない 28.1%

毎日の設問の立て方にも問題がある。

Q「後期高齢者医療制度に対する批判を受け、政府・与党は所得が低い人の保険料の負担を軽減するなどの見直しを行いました。この見直しを評価しますか、しませんか。」

・評価する 44% ・評価しない 48%

読売の調査も毎日の調査も、設問がシンプルではない。「負担を軽減する」という政府の意図そのものに対する評価を聞くものになっている。「負担を軽減しようというのなら良いんじゃない!？」とする答えが多くなるのは当然だ。そういう誘導的な設問の仕方は、やはり問題がある。

制度に関わる設問では、毎日の調査では

Q「野党4党は後期高齢者医療制度を廃止し、もとの老人保険制度に戻す法案を提出しましたが、与党は反対しています。老人保険制度に戻すことに賛成ですか、反対ですか。」

・賛成 56% ・反対 30%

と、やはり元の制度に戻すべきだ(=後期高齢者医療制度反対)という声がほぼ6割に達している。また読売でも

Q「後期高齢者医療制度は、高齢者にも保険料を幅広く負担してもらうことで、若い世代の負担が重くなりすぎないようにすることが目的です。この制度を、評価しますか。」

・評価する 35.6% ・評価しない 60.8%

という回答になっている。やや誘導的要素があるが、それでもやはり6割が反対だ。

内閣支持率や政党支持率は、あいまいな設問設定を許さないが、政策判断に対する調査では、往々にして、こういう「誘導設問ではないか」という指摘が出される。その聞き方に、マスコミ各社の政治姿勢も見えるようだ。

### 3. 世論の政権交代への志向性...いま総選挙があれば「自民惨敗」「政権交代」必至。

世論の政権交代への志向性

読売	仮に衆院選で投票 比例	
	自民へ	民主へ
4.3報道	26.4	28.9
5.20報道	27.6	26.2
6.17報道	25.1	27.5
朝日		
5.2報道	22	39
5.20報道	23	39
6.17報道	23	36
毎日	勝ってほしい政党	
	自民	民主
3.3報道	34	44
4.7報道	36	40
5.3報道	24	51
6.16報道	25	46
共同	政権は	
	自民中心	民主中心
1.13報道	35.0	41.5
2.11報道	36.0	40.2
3.17報道	38.5	37.3
4.6報道	32.9	39.8
5.3報道	26.7	50.0
6.14報道	35.1	40.4

政党支持率は、朝日、毎日、日経は、5月からは民主党が自民党の支持率を上回るという状態が続いている。

左表にもあるように、いま解散・総選挙があれば読売も朝日、毎日も「民主党に投票する」という傾向が強くなっている。共同の、次の政権は「民主党中心の政権」が「自民党中心の政権」を上回り続けている。これら三つの指標は安倍政権末期の参院選投票を目前とした時期と同じになっている。

民主党の支持率は、確実に昨年の参院選を契機にワンランク・アップした状態が続き、政権交代を望む声も強い状態を維持している。世論調査の数値を見る限りでは、いま解散・総選挙があれば、自民党が惨敗し、政権交代への絶好のチャンスである。

自民党は、この状態を沈静化するために「時を必要」としているわけだ。批判の強い後期高齢者医療制度を、どうか「見直し」で沈静化させ、サミットの政治ショーで人気を回復し、適当な時期に内閣改造を行ってイメージ回復を図ろうとしている。

福田首相が、解散総選挙に打って出られるような状態ではないし、衆議院で「首相信任決議」までやってしまったので、当面は、首のすげ替え(麻生とか小池という話題があったが)も難しい。

マスコミも政局は「べた凧」(風波もウネリも全く無い、鏡のような海面の状態)と言っているように、民主党にとっても、夏の臨時国会に向けての対応が難しいところだ。

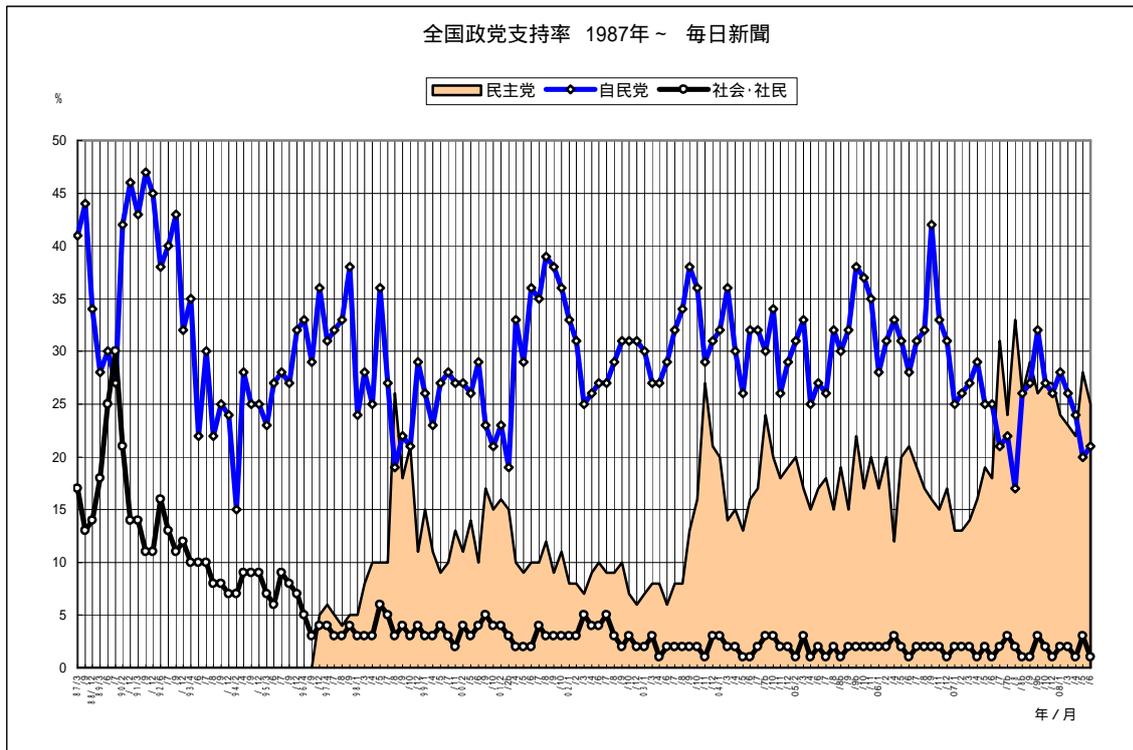
今回は、少し長期的に政党支持率の推移を見てみよう。分かりやすくするために、自民党と民主党、それにかつての社会党の支持率のみをグラフに出してみた。

毎日新聞の1987年からの調査では、自民党との支持率が逆転したのは過去に4回。

最初は、かつての社会党が1989年7月に自民27%：社会30%を記録。この月の参院選は、消費税・リクルート・農政の三点セットが争点で、土井社会党が議席を倍増させ、参議院で初めての与野党逆転を実現した。

2回目は、1998年8月に自民19%：民主26%。この時も前月の7月の参院選で自民党が大敗し、橋本内閣退陣 小淵内閣(少数派政権)。その後、自自連立へ道を開く。

3回目は、昨年の参院選直前の7月から安倍内閣が退陣する9月までの間。



そして4回目が、今回5月の自民20%：民主28%、6月の自民21%：民主25%というものだ。最初の2回は、参院選の直前に出した瞬間風速。昨年の記録も、安倍政権が参院選の敗北という、世論の審判を無視して居座り続けた間の国民世論の反発を反映したもの。今回は、明らかに「総選挙をやれ!」「一度、政権を変えた方がよい」という気持ちの反映した世論という点で、過去3回とは質が違うものだ。

グラフを見て分かるように、民主党の体力がランクアップしてきたことが分かるし、二大政党制という政権交代が可能な状態にバランス化されてきていることが分かる。

#### 4. 道内...ダブルスコアの政党支持率(自民16%：民主32%)

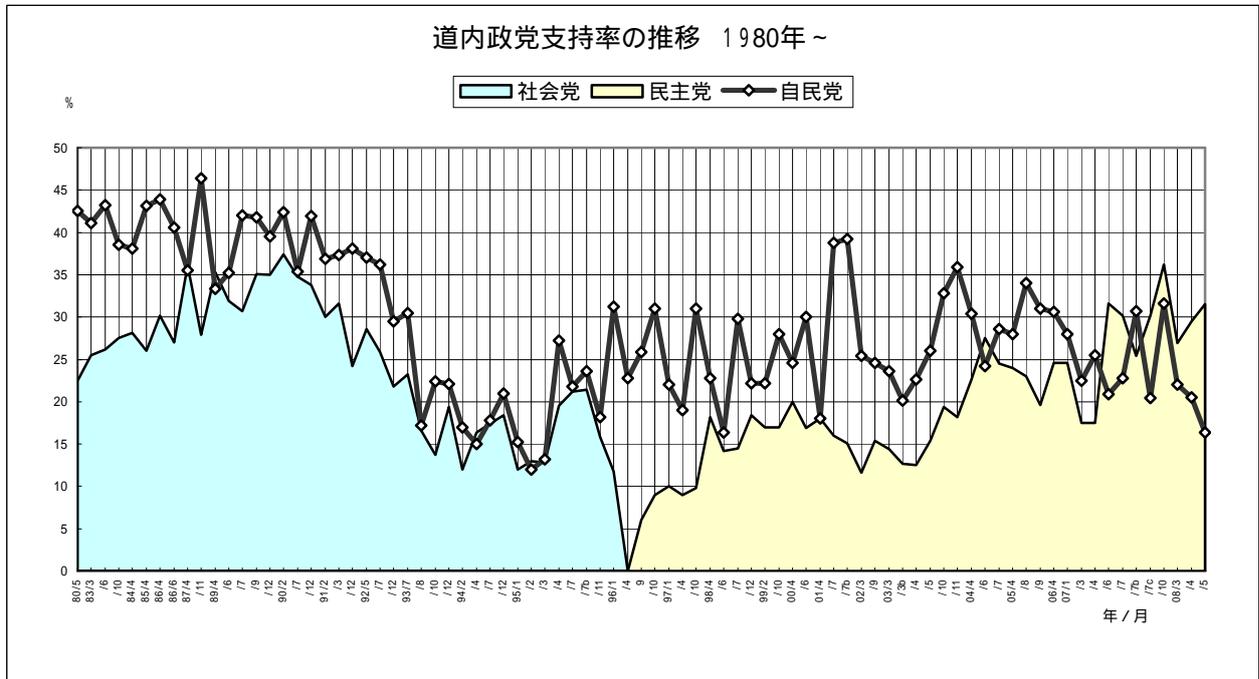
衆院選での投票も、民主に44%、自民は17%

6月12日に報道された道新の世論調査は、衝撃的なものだった。何と、自民党の支持率は16.4%、民主党は31.5%とダブルスコアを記録したからだ。

次の衆院選では、どの党や候補者に投票するかという問でも、民主党は44%であるのに対して、自民党は17%。信じ難い変化、地殻変動が起きている。男性の民主党への投票は55%で過半数を超え、無党派層の31%は民主党に投票すると

答え、自民党へはわずか4%にとどまっている。

次期政権の枠組みについても、民主党中心の政権がよいは56%、自民党中心の政権がよいは25%となっている。この数値だけを見れば、いま解散総選挙があれば道内の自民党は壊滅的と言って良いほどの敗北になることが必至だ。



道内の政党支持率も、少し長期的に見てみよう。

北海道は「革新王国」と言われていたように、かつての社会党は、自民党とほぼ互角の戦いを繰り広げてきた。1987年4月(自民35.5%：社会36.1%)、1994年4月(自民15.0%：社会16.4%)、1995年2月(自民12.0%：社会13.0%)と、社会党時代にも3回、瞬間風速だが、支持率の逆転を経験している。

民主党が結成された1996年以降は、2001年4月に自民・民主とも18.0%で並んだことがあるが、逆転したのは2004年6月の自民24.2%：民主27.5%。

昨年(2003年)の6月以降は、ほぼ民主党支持が自民党支持を上回ってきた。

それが今回は自民党支持率が16.4%にまで落下してしまった。

自民党支持率の最低値は1995年2月の12.0%だが、この時は支持政党なしが56.0%にも達する、いわゆる「政党・政治不信」が頂点に達していた時代だった。

自民党の支持基盤がガラガラと音を立てて崩れていっているのが聞こえそうだ。それにも関わらず、自民党道連は、高橋道政与党として、支庁制度再編を強行し、さらに自分の足元を自分の手で切り捨てていこうとしている。

この世論が持続されるなら、自民党大幹部の構える5区、11区、12区を奪い取っていく戦いを組むことが出来る。

民主党は、いまの政局に対処する姿勢を間違わないような舵取りが必要だし、また選挙区で、風に依存しすぎない基礎体力をしっかりと築いておくことが求められている。

安倍 福田内閣の世論動向(2006年9月～2008年6月)

日経	内閣支持率		政党支持率		
	支持	不支持	自民	民主	支持なし
安部内閣発足	71	17	55	18	
10.30報道	68		51	20	14
11.28報道	59		51	20	16
3月調査	43	45	41	18	25
4月調査	53	37	43	21	20
5.28報道	41	44	41	23	20
6.25報道	36	52	35	26	21
7.22報道	27	50	29	30	
8.1報道	28	63	29	44	
8.29報道	41	40	35	36	14
福田内閣発足	59	27	43	31	13
10.29報道	55	31	38	32	15
11.13報道	55	33	42	28	16
12.17報道	43	46	38	34	12
08.1.13報道	42	46	36	30	16
2.18報道	40	48	39	31	16
3.24報道	31	54	40	30	15
4.21報道	29	59			
5.2報道	21	68	33	36	
5.26報道	24	64	31	36	

毎日	内閣支持率		政党支持率		
	支持	不支持	自民	民主	支持なし
安部内閣発足	67	16	42	16	28
11.27報道	53	22	33	15	39
12.12報道	46	30	31	17	39
1.29報道	40	36	25	13	49
2.26報道	36	41	26	13	49
3.26報道	35	42	27	14	47
4.30報道	43	33	29	16	42
5.28報道	32	44	25	19	44
7.2報道	32	52	25	18	43
7.27報道	31	53	22	24	34
8.6報道	22	65	17	33	35
8.27-28	33	52	26	26	36
9.12-13	29	58	27	29	32
福田内閣発足	57	25	32	26	30
10.22報道	46	30	27	27	32
12.18報道	33	44	26	27	35
08.1.21報道	33	45	28	24	37
3.3報道	30	51	26	23	39
4.7報道	24	57	24	22	41
5.3報道	18	61	20	28	39
6.16報道	21	60	21	25	40

読売	内閣支持率		政党支持率		
	支持	不支持	自民	民主	支持なし
安部内閣発足	70.3		49.4	16.0	26.2
12.12報道	55.9	30.0	40.8	11.7	
1.23報道	48.4	38.9	39.3	12.5	41.5
2.20報道	45.3	42.7	34.2	12.0	46.8
3.20報道	43.8	43.9	36.4	11.3	46.0
5.22報道	49.6	36.8	38.5	11.1	42.4
6.8報道	32.9	53.7	33.1	22.5	30.6
7.6報道	32.0	53.9	32.1	21.3	31.8
7.13報道	30.2	57.7	30.6	22.8	32.2
7.18報道	27.9	51.7	27.3	25.7	29.6
7.20報道	34.8	52.6	31.5	24.1	30.0
7.27報道	36.5	51.8	31.5	24.1	30.0
8.1報道	31.7	59.6	31.3	31.4	24.1
8.7報道	27.2	63.7	25.8	26.9	38.7
8.29報道	44.2	36.1	31.8	30.9	25.2
9.11報面接	29.0	60.7	29.3	20.9	42.4
福田内閣発足	57.5	27.3	37.6	24.4	27.6
10.10報面接	59.1	26.7	37.8	18.0	36.9
11.13報道	52.2	36.0	34.3	22.5	36.0
12.11報道	52.5	35.3	35.3	17.1	40.8
08.1.16報道	45.6	41.6	35.5	16.9	40.7
2.19報道	38.7	50.8	32.6	20.0	40.4
3.18報道	33.9	54.0	33.1	17.6	41.9
4.3報道	28.0	57.7	27.3	22.9	38.9
4.15報道	30.0	58.4	30.6	17.4	46.0
5.20報道	26.1	64.7	28.5	18.4	47.6
6.17報道	25.1	63.4	26.0	20.5	46.0

共同	内閣支持率		政党支持率		
	支持	不支持	自民	民主	支持なし
安部内閣発足	65.0	16.2	49.2	16.1	23.2
10.12報道	62.7	19.5	43.5	22.6	24.2
11.27報道	56.5	24.1	43.3	16.4	28.7
12.7報道	48.6	35.3	44.6	20.3	25.0
1.14報道	45.0	38.9	41.9	15.4	30.3
2.5報道	40.3	44.1	35.1	15.4	39.8
3.13報道	39.9	42.2	39.9	16.9	32.4
4.17報道	44.2	38.3	37.1	18.3	35.3
5.14報道	47.6	38.2	36.3	18.8	35.1
6.4報道	35.8	48.7	31.5	22.2	35.5
6.25報道	33.5	57.7			
7.3報道	32.0	58.1			
7.10報道	30.1	58.8			
7.17報道	28.1	58.8			
7.22報道			32.3	16.4	35.1
8.1報道	29.0	59.0	31.5	37.6	15.9
8.29報道	40.5	45.5	38.8	25.6	24.1
9.15報道	25.3		35.4	30.1	
福田内閣発足	57.8	25.6	38.4	28.2	20.0
10.29報道	50.2	29.6	35.5	31.1	23.9
11.7報道	47.0	36.6	38.2	27.5	23.5
12.17報道	35.3	47.6	25.2	28.5	36.0
08.1.13報道	41.4	42.8	32	27	30.5
2.11報道	35.6	44.5	30.5	26.2	32.9
3.17報道	33.4	50.6	31.6	22.7	35.3
4.6報道	26.6	59.6	27.6	25.7	36.8
5.3報道	19.8	66.6	24.3	30.3	34.4
6.14報道	25.0	60.2	29.1	23.6	35.3

朝日	内閣支持率		政党支持率		
	支持	不支持	自民	民主	支持なし
安部内閣発足	63	18			
10月	63	14			
12月	47	32			
07.1月	39	37			
2月	37	40			
4月1日	37	43			
5月12-13日	43	33	33	14	36
5月19-20日	44	36	34	14	38
5月26-27日	36	42	29	18	38
6月2-3日	30	49	28	17	43
6月9-10日	34	48	28	19	39
6月16-17日	32	51	27	17	40
6月23-24日	31	48	27	15	44
6月30-7.1	28	48	25	16	39
7月8-9日	31	51	26	20	33
7月14-15日	30	55	28	21	37
7月21-22日	30	56	23	22	37
7月30-31日	26	60	21	34	30
8月27-28日	33	53	25	32	29
9月13日			30	28	30

朝日	内閣支持率		政党支持率		
	支持	不支持	自民	民主	支持なし
福田内閣発足	53	27	33	25	30
10.16報道	47	30	32	24	30
11.5報道	45	34	31	24	32
12.4報道	44	36	31	23	31
12.21報道	31	48	27	25	33
08.1.13報道	34	45	26	25	37
2.5報道	35	46	30	24	34
3.4報道	32	50	29	21	38
3.31報道	31	53	31	20	39
5.2報道	20	59	24	28	34
5.20報道	19	65	22	26	38
6.17報道	23	59	22	22	41